

議 事 録

					記録者 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ 主幹 鈴木純司		
供覧	教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐	主査係長	係員
件名	令和7年度 第2回 歴史民俗資料館運営審議会						
日時	令和8年1月30日(金) 午前10時00分～午前11時05分						
場所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 2階 多目的室						
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課						
出席者	【委員】酒入委員長、諸橋委員、黒田委員、藤本委員、佐藤委員、望月委員、菊地委員 【事務局】大古教育長、松崎課長、清水課長補佐、森田課長補佐、油原主幹、飯野主幹、記録者、由利会計年度職員						
欠席者	小野委員、由波委員、塚本委員						
傍聴人	0人						
議事録署名人	酒入委員長、藤本委員						
〈会議の内容〉 1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 委員の改選 6 議長選出 7 議長あいさつ 8 議事 ・議案第1号 令和8年度歴史民俗資料館事業計画について 9 閉会							
事務局(森田)	(1 開会)						
教育長	(2 教育長あいさつ)						
事務局(森田)	(3 委員紹介) (4 事務局紹介) (5 委員の改選) (委員長を酒入委員、副委員長を佐藤委員とすると決定) (5 議長選出) 歴史民俗資料館設置管理条例施行規則第16条に「委員長は会議の議長となる」						

	とありますので、この後の議事進行を酒入委員長にお願いいたします。
議長	(6 議長あいさつ) (10名中7名の委員が出席しているため会議成立) (議事録署名人として議長本人と 藤本委員を指名。)
委員	(各委員「異議なし」)
7 議事	
議長	議案第1号「令和8年度歴史民俗資料館事業計画(案)について」事務局の説明を願います。
事務局(油原)	(資料に基づき説明)
議長	ありがとうございます。ただいまの事業計画につきまして、ご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。
菊地委員	5ページにありますデジタルスタンプラリーについて、前から気になってはいたのですが、どういったものなのかよくわからないので、説明をお願いします。
望月委員	観光物産協会の会長をしております望月です。こちらは観光物産協会で開催していきまして、事業を始めてもう5、6年になります。市民の皆さんに龍ヶ崎市の文化遺産を知っていただくという思いで、行っています。神社仏閣などに QR コードを設置し、それを参加者にスマホで読みとっていただきます。そうしてここに来た、というのを集めて応募していただくと、龍ヶ崎の物産品をプレゼントする、という企画です。それでチェックポイントについては、歴史民俗資料館にも手伝ってもらって行っています。去年は実施期間が短かったので、今年は11月17日から1月30日の間行っています。
菊地委員	ありがとうございます。
事務局(森田)	こちら、今回のスタンプラリーのパンフレットです。歴史民俗資料館としては、常設展示室の「内行花文鏡」がチェックポイントの一つとなっていますので、ぜひご覧ください。
議長	今のように、ちょっとここが分からない、といった質問等がございましたら、それもお願いいたします。
望月委員	資料5ページの(3)「歴史散歩やデジタルスタンプラリー」の所にあります、開催日5月、3月で募集人員20名とはどういう意味でしょうか
事務局(油原)	これは当館と、市内のコミュニティセンターとの共催で、5月と3月に歴史散歩を行うということです。スタンプラリーはまた別に行います。
議長	歴史散歩を5月、3月に行って、スタンプラリーはこれからということですか。
望月委員	デジタルスタンプラリーは、詳細は未定ですが来年も行う予定です。
黒田委員	デジタルスタンプラリーにつきまして、小学3年生では龍ヶ崎の事を学ぶ、という授業を行っています。その中で市内のスポットで写真を撮るフォトラリーをやっています。その子らも参加できるように、期間を長めにしたり夏休みの時期にしたいりすれば、子どもたちも龍ヶ崎を知ることができると思います。
望月委員	そういったことも今後、事務局の方で調整してまいりたいと思います。

黒田委員	物産品がいただける、というのも魅力的なので、紹介したいなと思います。
望月委員	小学生や中学生にも知ってもらいたいという思いで続けていますので、よろしくをお願いします。
諸橋委員	フォトラリーの方も継続して行っていますので、うまくプログラムとしてやっていきたいと思いますので、相談させていただきたいです。
望月委員	調整させていただきます。
議長	ありがとうございます。小学校や中学校の生徒たちが、より多く参加していただければ、龍ヶ崎の歴史等の理解にも繋がると思うので、開催時期については資料館の方とも相談しながら、良い時期を決めていくということでよろしいでしょうか。
藤本委員	私は資料館ボランティアを始めて18年になります。ほかの皆さんも同じぐらいの年代の方が多いです。60代になりますので、昔ほどの活動が難しくなっています。 しめ飾りやわら草履作りの教室も、自分たちで田んぼに行ってお刈りしてましたが、それがちょっと辛くなってきたところがあって、今は資料館の方をお願いして、お刈りやわら干しをしてもらっています。 皆さん、やっぱり興味ある方は多いので、その教室の予約が取れないという話もあるんですけども、ボランティアの数も減ってきたりしているので、受け入れ人数もちょっと手一杯なところがあります。今は小学生が、見学に来てくれて、私達は卓上機や綿の種とりの体験をしてもらっていますが、時間も限られた中でやるようになってしまっています。私たちも楽しみにしているので、もうちょっとできると良いかなと思うんですけども、なかなかそこが難しいところかなと思います。
議長	資料館の運営にはボランティアの活動が欠かせない、というのは皆さん認識されていると思います。今後のボランティア活動について、事務局からお願いします。
事務局(森田)	ボランティアの皆さんには館の運営ということで、色々ご協力いただきまして感謝申し上げます。先ほどありました高齢化や委員数が少ないということにつきましては、広報等を通じて、募集を行っています。 今年は、2月号の広報で募集を行っております。例年1人か2人は応募していただけますが、引き続きボランティアの活動等を周知しながら募集を行って、できるだけ人数を確保していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
議長	何か要望ですとか、こうしたら良くなるというアイデアでも結構ですが、如何でしょう。なかなか高齢化ということで色々な問題があると思いますが。
藤本委員	ボランティアも年齢的にお辞めになる方が多くて、古い方がこのところ減ってきています。新しく入った方もまだ3人ぐらいです。 なかなかボランティア活動に参加するということが難しくなってきたところもありますけれど、やはり他のみんなも機織が好き、とかそのものが好きでやってらっしゃると思います。私も機織がやりたくってこちらでお世話になっていますので、自分のできる範囲内ではやりたいなと思っています。 小学校見学の対応でも多い人は7回ぐらい出ていますが、その日の午前中はつぶれてしまいます。 でも小学生の相手は、みんなかわいいというか、面白いというか、そういう点は楽しいんですけども、やはりなかなかボランティアの数が少ない、中間の方がいなくなってしまったのが、大変だと思います。 続けられれば続けて行きたいと思っています。
事務局(油原)	ボランティアの人数につきましては、データを見ますと平成30(2018)年には36名いらっしゃいました。もともとは資料館で主催する様々な体験教室の参加者の中

	<p>から、興味がある方にボランティアに入っていたいていました。当時は長期的な、半年コースのような体験教室があったので声をかけやすかったのですが、体制が変わって、長期的なものができなくなってしまったので、なかなか新しい方に声かけにくい状況になり、だんだん減ってきている状態です。加えて、コロナ禍のこともあり、新しい人がなかなか入らないという状態なので、市の広報で募集するという形に切り換えました。ある程度こういう体験に興味のある方が応募されてくるわけですが、当然入られる方も、年齢を重ねて車の運転とか難しいということで辞められるという方がいらっやいまして、現在は21名となっております。また、年齢の平均値を出してみると、平成30年には66歳だったんですけども、今年は70歳ということで、大体4歳上がっております。</p> <p>当館の事業に協力していただきながら、自分たちも楽しんでいただけるような工夫をボランティアさんと一緒に作っていきたいとは思っておりますが、難しい部分もありますので、いろいろご協力、相談しながら進めていきたいと思っております。</p>
議長	<p>ボランティアの問題だけでなく、学校との連携などにつきましても、意見や要望があればお願いします。</p>
菊地委員	<p>今のボランティアの件にも関連することで、私はいろいろ資料館の事業に参加させていただいています。仕事を辞めてからは興味があることを体験しています。</p> <p>例えば染色教室の方も、なかなか競争率が高くて、電話してもすぐいっぱいになってしまうので、もっと回数をふやしたり、人数をふやしたりできないのかなと思っていましたが、その中で、本当にボランティアの方にお世話になっているということを感じていました。またその他の材料や道具の面で資料館にもお世話になっていると思います。</p> <p>またそれとは別に、いろいろ体験させてもらってる中で、昔の人はこんなふう染めていたのかとか、龍ヶ崎木綿というブランドがあったこととか、身近に昔の人の生活やなりわいが感じられて、更に色々なことを知りたいと思えてきました。</p> <p>ですから資料館の事業を通して、興味ある人たちが増えていけば、先人の知恵や技術を伝承していけると思います。一つの事を体験することで多くの事を学べると思いますので、知り合いたちにもPRしたいと考えています。</p>
事務局(森田)	<p>染色教室につきましては、応募の方が多く、できるだけ色々な方に体験していただくということで今年から先着順ではなく、抽選という形に変更したところでございます。来年度以降もこの形を継続する方向で計画をしております。</p> <p>また、色々な講座・教室の定員が少ないのではという件につきましては、ボランティアの方の協力が大変必要でございますので、ご意見を参考に定員等につきましては、検討してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、資料館や博物館の運営・経営に詳しい、佐藤委員何かございますか。</p>
佐藤委員	<p>ではお聞きしたいのですが、資料館で綿を栽培していますが、あれはボランティアの方がされているのですか。</p>
藤本委員	<p>はい。</p>
佐藤委員	<p>私は、この資料館で綿を見て、この年になって初めて綿がこんなふうにとれるのかと感じました。資料などで知ってはいましたが、実物は見たことがありませんでした。ですから、このことはもっと広く知れた方が良いと思います。</p> <p>この実物の綿を、家に帰って孫などに見せたら、みんな驚いているんです。子どもたちは本当に知らないと思います。資料館の職員もボランティアに任せずにアピールした方が良いでしょう。</p>

藤本委員	毎年小学校見学の際に、子どもたちに綿の種取りを体験してもらっています。各学校に綿の種を渡しているの、綿を植えている学校もあると思います。ただ今年は種が間に合わなかったの、渡していません。
佐藤委員	資料館内でももう少し写真等を使ってアピールしていただきたい。これが1点です。 続いて、今展示中の企画についてです。今行っている展示は、私にとっても非常に懐かしいものでありますが、その中の紙芝居について、これはビデオで紹介しているのですか。私は紙芝居をやっている情景が浮かんでくるんですが、その状況をビデオに残っていて、それを流しているのですか。
事務局(油原)	昔、実際の紙芝居屋さんがやっている映像は収蔵していません。以前昔の8mmフィルムを収集した際にも、紙芝居の映像はありませんでした。
佐藤委員	後もう2点ございます。 1点目は、毎年資料の寄贈などで収集していますが、それをこの審議委員会の中で、現物と一緒に今年はどういう資料が新たにありましたという報告をして欲しいということです。 2点目は、事業計画の最後の方にある、古民家の調査の件ですが、調査ということとはわかりますが、どのように活用していくという風に考えておられるのでしょうか。
事務局(油原)	まず1点目、資料収集の報告についてです。これは事業報告の際に、例えば何々家文書を整理しました、というような形で報告しています。現物を使っての報告はしていませんが、今年度はたまたま色々な資料を収集していますので、次回の事業報告の際に、このような形で整理しました、というような報告を致したいと思います。 続きまして2点目、古民家の調査と活用についてですが、来年度の段階ではまだ予備調査の準備という状況ですので、現時点では活用ということまでは考えていません。
事務局(由利)	今、佐藤委員からあった民家調査につきましては、まず議会に対して市民団体から、旧龍ヶ崎地区の古い建造物をきっちり調査して欲しいという旨の請願がありました。 かつて昭和59年から61年にかけて、市史編さん事業の中で民家調査というのを行いました。その際に旧龍ヶ崎地区には、64件の対象物がありました。ただそれが全部調査報告書に載っていないし、その当方で漏れている物件もあるので、そこも含めてきっちり調査をして欲しいという請願でした。それが議会で採択されまして、これから歴史民俗資料館の協力を得ながら、調査をやっていくというものです。 ですから、佐藤委員からあった活用については、我々としては現時点ではまず調査の要望に対して、調査を行うというスタンスです。 ただ、この間も市民団体の皆さんとお会いした際に、調査結果を市民と共有して欲しい、というお話を受けています。共有となると報告書という形になるか、ホームページに上げるのか、いずれにせよここからは文化財の観点になりますので、文化財保護審議会の中で、佐藤委員はこちらの委員でもありますが、委員の方の意見も聞きながら、今後どうするかについて、考えていきたいというふうに思っております。
議長	こちらの資料館と、請願を提出された市民団体と協力しながら、今後調査を進めていくということですね。こういった活動というのはどこか1つの組織がやって縦割りになるよりも、横の連携を持って行っていく方が良いかと思います。 これからということですので、調査を行う中で、資料館の方でも、協力していくというような理解でよろしいでしょうか。
事務局(油原)	ボランティアの活動についてですが、展示スペースでパネルを展示したり、広報誌

	<p>を使って、活動を広報したりしています。それで、ボランティアへの参加希望者を増やそうと考えています。先ほど藤本委員からもありましたが綿や藍の栽培については、資料館でも草刈等協力しております。</p> <p>今後も、このボランティアに協力しながら、体験学習に繋がるようなことをしていきたいと思っております。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>佐藤委員の方からは綿づくりですとか、紙芝居ですとか、こういう体験型ということ、歴史民俗資料館の方でも、ぜひ積極的にやって欲しいというようなご意見かと伺いました。そういった活動がさらに学校教育とも連携して、同時に博物館と大学教育との連携がなされていけば、龍ヶ崎の歴史にみんな親しみを持っていく、ということに繋がるので、それが資料館を中心に行われていくといいかなと。</p> <p>そのためにはぜひ委員の皆様には、自分たちの分野ではこういうものが欲しいですとか、こういうことを協力できるといったようなご意見もいただければ、大変ありがたいと思います。</p> <p>佐藤委員の方から収集資料についても、ご質問があったと思いますが資料館の活動として、小学校、また地域の方々との連携と同時に、学術的な研究を進めるということも1つあると思います。民家の調査もそうですけれども新しい収集資料についても、せっかくの場なので今後事業報告で報告していただけるということなので、龍ヶ崎にはこんなものがあるんだということが子どもたちや市民の方にも伝わり、さらには学校でも利用できたりということになっていけば良いのかなというふうに考えました。こちらの方で意見をちょっと述べさせていただきました。</p> <p>スタンプラリーについては、とてもうまく連携がいつてるものなのかなと思います。</p> <p>他の面に関しても、それぞれの組織で問題を抱えている側面もありますが、横との繋がりができていけば、進んでいくものもあると思いますので、せっかくの場でするので、何かご意見があれば伺いたいと思います。</p>
諸橋委員	<p>ボランティアさんの数が非常に足りてないような状況で、小学生たちが古い道具の使い方の体験とかをさせてもらっている状況ですが、そのような体験を通して小学生たちも龍ヶ崎というまちに愛着を持ってくれると思います。</p> <p>それを繰り返すことによって地域に何か貢献したいという気持ちを、育てていけるように、小学校、中学校の方でも、改善をしていきたいなというふうに思っています。</p>
議長	<p>資料館の方でも、多くの事業を行っていますが、こういうものはどれだけ多くの人に知って参加してもらえるか、だと思います。参加者が増えれば、ボランティアになろうという方も増えてくるかもしれません。</p> <p>他にご意見はございませんでしょうか。それでは令和8年度事業計画(案)につきまして皆様方のご意見ありがとうございました。</p> <p>事務局には、ただいま委員の皆様からいただいたご意見を参考にしながら、今後の事務事業を遂行していただきますようお願いいたします。</p> <p>議題に、其の他とありましたが、事務局から何かありましたらお願いいたします。</p>
事務局(森田)	<p>それでは慎重審議ありがとうございました。</p> <p>只今いただいたご意見を元に、令和8年度には事業計画どおり進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。続きまして情報提供がでございます。</p>
事務局(鈴木)	<p>只今、1階の企画展示室で、「昔の道具 よむ、みる、きく、あそぶ」と題して、1月後半からの小学校見学に合わせて、昔の小学生の、娯楽にまつわる道具類や写真などを展示しておりますので、ぜひ、ご覧いただきたいと思っております。</p>
事務局(油原)	<p>今回お配りしたこちらのパンフレットは、今朝届いたものですが、茨城県博物館協会で作成しているミュージアムガイドです。当館も茨城県博物館協会に加盟してお</p>

	<p>りまして、茨城県の他の博物館と一緒に掲載されています。</p> <p>他に、全国博物館協会や関東博物館協会に加盟しています、当館のPR活動の一環としております。</p> <p>こういったものが発行されておりますので、当館だけではなくて興味がある博物館がありましたら、おいでいただければと思います。</p>		
議長	<p>以上をもちまして、令和7年度第2回歴史民俗資料館運営審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>		
閉会			
次回会議予定	次回開催日程等については別途調整後、決定		
情報公開	公 開	非公開(一部非公開を含む)とする理由	(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)
		公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)	年 月 日
	<p>令和8年1月30日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和 8 年 2 月 日</p> <p>議事録署名人</p> <p>議事録署名人</p>		